



地域ブランドの育成と強化を図る ふるさと名物応援宣言

平泉文化遺産センターで9月26日、伝統文化や伝統産業などの地域資源を活用した商品ブランド化などの継続的な取り組みを推進することで地域産業の付加価値を高め、地域産業の活性化を目指す「ふるさと名物応援宣言」が行われました。記念セレモニーには生産者や事業者を含む町内関係者や国、県の担当者ら約30人が出席。今後は地域ブランドの育成と強化を図るために、積極的な情報発信や地域を挙げた取り組みなどを推進していきます。

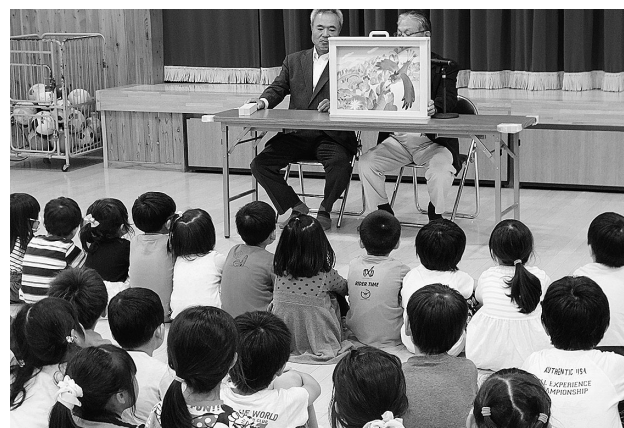


多くの町民らでにぎわう 中尊寺通りホコ天まつり

9月29日、県道平泉停車場中尊寺線(中尊寺通り)で第5回中尊寺通りホコ天まつり(平泉商工会主催)が開催されました。会場には地元商店による軽食やスイーツなどの飲食を中心に、足つぼマッサージや似顔絵などさまざまな出店コーナーが並び、詰め掛けた大勢の町民らでにぎわいを見せていました。また通りの北側で行われた路上ステージイベントには、祇園子供獅子舞や平泉中学校吹奏楽部などが登場し、会場を盛り上げていました。

人権擁護委員と園児の交流 長島保育所で人権交流会を開催

10月4日、長島保育所で4～5歳児36人を対象に人権交流会が開催されました。平泉町の人権擁護委員による紙芝居「ずっとともだちでいたいから」を通して、人を思いやり、みんなと仲良くすることの大切さと呼びかけ、園児たちは「仲良くなってよかった」、「いじめをしちゃだめだよ」と話しながら、真剣に見入っていました。その後、人KENまもるくん、あゆみちゃんのマスコットが園児に配られ、委員と握手やタッチをするなどして交流を深めました。



平泉小学校の教育現場を視察 ドイツのシュパイヤー市民訪問団

世界遺産であるシュパイヤー大聖堂を有するドイツのシュパイヤー市が日本の世界遺産の町である平泉町と交流を図るため、10月4日に市民団26人が当町を訪問。訪問の際には、日本とドイツの教育体制の違いを学ぶため、平泉小学校の校舎内を視察しました。市民団の団長であるモニカ副市長は「教室に壁がない、学校の敷地内にプールがあるなど、実際に日本の教育現場を見ることができてとても参考になった」と話し、授業などを興味深く見学していました。

平泉を掘る

平泉町内の遺跡から出土した下駄13点が重要文化財に指定されており、その中の代表的な3つを紹介します。下駄の形は12世紀から大きく変わっていないことがわかります。当時の人々の足音が聞こえてきそうです。



【写真1】左右一対で出土した連歯下駄①
台と歯が一体化している下駄(連歯下駄)で、左右一対で出土しました。鼻緒を通す穴が3カ所にあります。長さは24.5センチと24.8センチ、歯の高さは5センチほどです。歯の底には使われて擦れた跡があります。(志羅山遺跡出土)

重要文化財紹介②

【下駄 ～12世紀の人々の足音～】



【写真2】左右一対で出土した連歯下駄②
この下駄には鼻緒を通す穴がありません。どのように履いていたのでしょうか。長さは26.3センチと24.5センチ、歯の高さは10センチほどです。ケヤキで作られています。(志羅山遺跡出土)



【写真3】差歯下駄の歯
台と歯が一体化している連歯下駄に対して、別々になるものを差歯下駄といいます。この歯の高さは10センチほどです。(花立Ⅱ遺跡出土)

平泉町職員懲戒審査委員に 佐藤さん、小室さん、千葉さん

町議会定例会9月会議で同意され、佐藤敏雄さん(21区)、小室光子さん(6区)、千葉多嘉男さん(13区)が平泉町職員懲戒審査委員に任命されました。

任期は令和元年10月1日から3年間です。



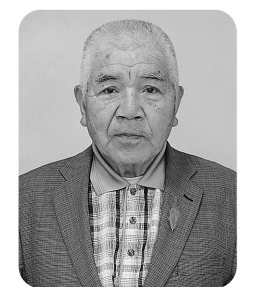
佐藤 敏雄さん
(長島字野田)



小室 光子さん
(平泉字日照田)



千葉多嘉男さん
(平泉字柳御所)



千葉 昭夫さん
(平泉字山岸)

町議会定例会9月会議で同意され、千葉昭夫さん(5区)が固定資産評価審査委員に選任されました。任期は令和元年9月28日から3年間です。

固定資産評価審査委員に千葉さん